

会議録(要旨)

会議の名称	多摩北部都市広域行政圏協議会 令和4年度 第1回審議会
開催日時	令和4年7月27日(水) 午後1時54分から午後2時47分まで
開催場所	多摩六都科学館 2階 201会議室
出席者	小平市 外山まなみ委員 橋本孝二委員 西原政策担当係長 東村山市 横尾たかお副会長 志村 誠委員 秋山企画政策課課長補佐 清瀬市 宮原りえ委員 城野けんいち委員 吉澤未来創造課主任 東久留米市 当麻一哉委員 佐藤企画調整課長 西東京市 田村ひろゆき委員 佐藤大介会長 事務局 池澤隆史 西東京市長(協議会会長) 保谷事務局長 鈴木次長 安達主査
議題	(1) 令和3年度 多摩北部都市広域行政圏協議会歳入歳出決算について
報告事項	(1) 令和3年度 事業報告書について (2) 令和4年度 多摩北部都市広域行政圏協議会事務日程について (3) 令和4年度 各専門委員会への付託事項について (4) 令和4年度 多摩六都フェアの日程等について
会議資料	資料1 令和3年度 多摩北部都市広域行政圏協議会 決算書 資料2 令和3年度 専門委員会の活動報告及び評価について 資料3 令和4年度 多摩北部都市広域行政圏協議会事務日程 資料4 令和4年度 専門委員会への付託事項 資料5 令和4年度 多摩六都フェアの日程等について 令和3年度 事業報告書
記録方法	発言者の発言内容ごとの要点記録
会議内容	
1 開会	
2 多摩北部都市広域行政圏協議会 審議会会長 挨拶 多摩北部都市広域行政圏協議会会長 挨拶	
3 議題 (1) 令和3年度 多摩北部都市広域行政圏協議会歳入歳出決算について ●事務局から、資料1により説明 ・歳出は10年間で2番目に小さい額となった。調査研究費で大きな経費がなかったことや、会計年度任用職員を使わなかったことなどによる。 ・10年間で最大だった令和2年度と比較すると、400万円を超える減となった。	

●質疑応答

(田村委員)

- ①事務費の不用額について、会計年度任用職員を使わないことを判断とした時期はいつか。
- ②調査研究費の委託料の不用額について、協議会ニュース印刷・折込みは、単価の下落と部数減のいずれによるものか。

(事務局)

- ①令和3年度に事務局が西東京市となって早い段階で令和3年度・4年度の事務を検討し、令和3年度は会計年度任用職員を使わないこととした。
- ②予算どおりの部数で作成・配布している。不用額は競争入札による契約差金である。

(田村委員)

- ①令和3年度第1回審議会で雇用予定なしと聞いており、早い段階で判断したと理解した。予算策定時に翌年度の事務量を見通せるよう努められたい。
- ②契約実績は、予算からどのくらい下落したのか。
また、令和4年度予算では令和3年度予算より高い単価とされており、単価は上がる方向と考えるが、いかがか。

(事務局)

- ②調査研究費の委託料の執行率は約86%で、約14%分が不用額となった。
また、令和4年度予算は、今般の人件費・材料費等の上昇を踏まえて、前年度予算比で作成単価の増を見込んでいる。

4 報告事項

(1) 令和3年度 事業報告書について

- 事務局から、令和3年度 事業報告書、資料2により説明

●質疑応答

(宮原委員)

多摩六都科学館事業 圏域市民感謝デーの代替の圏域市民限定オンラインイベントについて。科学館から遠い地域の市民も参加しやすく有意義と考える。当該オンラインイベントに対する圏域市民の評価や反応を伺いたい。

(事務局)

多摩六都科学館から、6つのプログラムで合計661世帯の参加があり、参加者アンケートで3/4以上の方から「とてもよかった」との評価をいただいたと聞いている。「気軽に参加できてよかった」、「家族全員で楽しみながら参加できた」、「また実施してほしい」といった意見があった。また、「科学館にはなかなか行けないので、オンライン開催はありがたい」との意見があり、比較的遠方の清瀬市からの参加が全体の2割と高かったことが特徴だと聞いている。

(2) 令和4年度 多摩北部都市広域行政圏協議会事務日程について

- 事務局から、資料3により説明

・協議会Webサイトのリニューアルを来年1月に向けて実施する。各専門委員会や広域行政担当者会議と連携して進める。

—質疑なし

(3) 令和4年度 専門委員会への付託事項について

- 事務局から、資料4により説明

・本年4月に各専門委員会の委員長（小平市）あてに付託し、すでに活動を開始している。委員長と協力して、「多摩六都広域連携プラン」を推進していく。

●質疑応答

(田村委員)

- ①意見。道路と鉄道の連続立体交差事業について、鉄道の安全性向上につながると考えており、検討対象区間の3区間の事業化を進めてほしい。広域行政圏からも発信してほしい。

②代替事業案の「課題型ポッチャ大会」とはどのようなものか伺いたい。

(事務局)

②西東京市から紹介があった。離れた場所のチームをオンラインで繋いで実施する。課題としてあらかじめ決められた位置にボールを配置し、決められた回数の投球により獲得した点数を競う。

(宮原委員)

緑化専門委員会の「アダプト制度」とはどのようなものか。

(事務局)

「アダプト」とは「養子縁組」や「里親」を意味する。公園などの公共施設を地域の市民がボランティアで維持管理する制度であり、小平市で実施されている。

(宮原委員)

清瀬市も「kiyose花のある公園プロジェクト」を実施している。市民協働による公園の整備や管理について情報交換を進めてほしい。

(4) 令和4年度 多摩六都フェアの日程等について

●事務局から、資料5により説明

- ・ 8つのイベントで日程等が確定した。「こだいら合唱団演奏会」は昨年度に続き中止。
- ・ 9月4日(日)発行予定の「協議会ニュース」に、多摩六都フェアの開催案内を掲載する。「協議会ニュース」は、主要6紙の新聞折込み・各市窓口で約20万部を配布する。
 - 質疑なし

5 その他

— 特になし

6 閉会